

2026年4月30日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2026年4月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。設備投資は、高水準で推移している。輸出は、持ち直している。

こうした中で、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、改善している。

3月短観における企業の業況感は、改善している。

先行きについては、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向、各国の通商政策等の動きやその影響を受けた海外の経済・物価動向、コスト高とその波及、労働需給と雇用者の所得形成などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	個人消費	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
	公共投資	増加している。	増加している。
	設備投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	輸出	持ち直している。	持ち直している。
生産		横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用・所得		改善している。	改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	高水準で推移しており、足もとでは前年を上回っている。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	堅調に推移している。
耐久消費財	家電販売	横ばい圏内の動きとなっている。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	横ばい圏内の動きとなっている。
サービス	旅行・観光	増加している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱めの動きとなっている。

2月の新設住宅着工戸数は、貸家と分譲の減少を主因に前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、増加している。

3月の公共工事請負金額は、国の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、高水準で推移している。

3月短観（九州・沖縄地区）における2025年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る見込みとなった。2026年度も、前年を上回る計画となっている。

2月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を下回った。

6. 輸出

- 輸出は、持ち直している。

3月の輸出額（九州経済圏）は、前年並みとなった。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内の動きとなっている。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、下げ止まっている。船舶は、増加している。
電子部品・デバイス	高水準で推移しているものの、一部に弱めの動きがみられる。
汎用・生産用 ・業務用機械	横ばい圏内の動きとなっている。
化 学	持ち直している。
鉄鋼・非鉄金属	弱含んでいる。
食 料 品	振れを伴いつつも減少基調にある。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、改善している。

労働需給をみると、3月の有効求人倍率は、前月を下回った。

1月の雇用者所得総額は、現金給与総額と常用労働者数の増加により前年を上回った。

9. 物価

- 3月の消費者物価（九州地方、生鮮食品を除く総合）は、前年比+1.6%となった。

10. 金融

- 2月の預金残高をみると、法人預金や個人預金を中心に前年を上回った。

- 2月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。

- 企業倒産は、振れを伴いつつ増加している。

3月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を下回った。

以 上